

令和8年1月29日
広聴広報課 広報グループ
担当：藤井・貞國
内 2152 直通 087-832-3019

令和7年度香川県広報コンクール審査結果を発表します

1 審査結果

部 門		応募数	審 査 結 果	全国推薦
広 報 紙	市部	8市	最優秀賞 丸亀市 (11月号)	○
			優 秀 賞 坂出市 (12月号)	○
	町部	3町	最優秀賞 該当なし	
			優 秀 賞 小豆島町 (12月号)	
広報写真	一枚	8市3町 計11点	最優秀賞 高松市 (11月号表紙)	○
			優 秀 賞 小豆島町 (12月号表紙)	
	組み	7市1町 計8点	最優秀賞 観音寺市(11月号2～3ページ)	○
			優 秀 賞 高松市 (2月号2～3ページ)	
映 像	4市0町 計4点	最優秀賞 さぬき市 (ココロとカラダの開放 さぬき市志度・津田エリア編)	○	
		優 秀 賞 坂出市 (ふるさと坂出 移住者からみた坂出の新しい魅力)		

※令和8年全国広報コンクールへは、各部門の最優秀賞4点、広報紙部門(市部)の優秀賞1点を推薦します。

2 審査講評

(1) 広報紙部門

「市部」で最優秀賞となった「丸亀市」の作品(11月号)について、島を舞台に、人々の暮らしと人生、それぞれの思いを、「紡ぐ」という言葉の通り、丁寧に伝えた。異世代の地元住民との交流を含めて島に移住した人たちの話がまとめられており、厚みを感じさせる。取材した人の物語が丁寧に書かれ、レイアウトも読みやすかった。

(2) 広報写真部門

①一枚写真の部

最優秀賞となった「高松市」の作品(11月号表紙)について、鮮やかで動きもあり、インパクト大。紙面を粋いっぱいを使い、きれいな円が動きの中で捉えられている。構図がよく、非常に迫力があり、斜めに伸びた紙垂の縄が効果的になっている。

②組み写真の部

最優秀賞となった「観音寺市」の作品（11月号2～3ページ）について、トリアスロンの色々な場面をうまく盛り込んだ。QRコードで誘導して、写真が見られる取り組みは親切。キッズと大学生を左右ページで対比させる狙いが、レイアウトとうまく合っている。

(3) 映像部門

最優秀賞となった「さぬき市」の作品「ココロとカラダの開放 さぬき市志度・津田エリア編」について、ナレーションがなく、映像だけで見せているが、ドローンやGoProなどを駆使し凝ったカメラワークと工夫を凝らした編集で見応えのある作品に仕上げた。映像はどこを切り取っても一枚の絵画のように美しい。言葉はなくともさぬき市の魅力を存分に伝えられている。

3 審査会 書面での開催

4 主催 香川県

5 趣 旨

市町の行政広報の技術向上を目的に、公益社団法人日本広報協会が行う令和8年全国広報コンクールの県予選を兼ねて、8市3町から応募のあった広報紙、広報写真、映像計34点（令和7年1月～12月の発行等）のコンクールを行いました。

※香川県広報コンクールは昭和41年度から始まり今回で60回目

※全国広報コンクールは昭和39年から始まり次回で62回目

6 審査員

《広報紙・広報写真部門》

(敬称略)

株式会社朝日新聞社高松総局長	熊 谷 徹 也
株式会社四国新聞社編集局次長	三 谷 倫 久
株式会社毎日新聞社高松支局長	森 田 真 潮
株式会社読売新聞大阪本社高松総局長	井ノ口 麻 子
香川県情報発信参与	香 西 彰 美

《映像部門》

日本放送協会高松放送局コンテンツセンター長	酒 井 博 英
株式会社瀬戸内海放送報道クリエイティブユニットタスクマネジャー	喜 多 信 博
西日本放送株式会社報道制作局報道制作局長	和 家 剛